

令和3年4月21日

4月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では好天が続き、原木生産、各共販所への入荷は順調である。間伐材・小径木も順調に動いている。元落も極めて少ない。スギ材・ヒノキ材ともに引き合いが強い。特に柱材が値上がりしている。

群馬でも出材は順調で原木不足は解消されたが、需要も多いため原木価格は値上がり傾向にある。製材工場はフル操業で残業を行っている。問合せ、受注が異常に多く、集成材と米マツの代替材とみられる問合せが多い。スギ間柱、仮筋交等を中心に受注はパンク状態。余剰在庫は皆無である。全体的に5,000円/m³程度の値上げで過当競争気味。毎週2,000円程度値上がりしているが、お断り価格の雰囲気もある。

2. 米材

カナダ・米国とも原木の出材は順調。港頭在庫は低水準であるが、輸出需要に見合う供給は行われている。米マツ IS 級並の対日輸出価格(推定)は3月に続き4月も\$30アップの\$1,020になった模様。一方、米国の製材品、構造用パネルは史上最高値を推移中である。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(4/1)は\$1,026/Mとなり、2月末に比べ1.0%の上昇。高騰の要因は好調な住宅市場と制約された生産能力である。原材料は製品ほどは逼迫しておらず原材料の値上がりは緩やかである。中国からの原木・製材品の引き合いが強まっているが、海上運賃の急騰により成約は困難になっている。海上運賃は2月中旬から急騰し約1ヵ月でほぼ2倍である。産地製材品価格の居所は高く数量の出方も悪い。今後原木価格が高値張り付きになるため、価格は下がる見込みはないだろう。

3. 南洋材

サラワク州では春節後、天候は回復したが、3月に再び悪化した。4月は乾期に入るので好天が期待される。3月はインド向け5船(船積量14万m³)、台湾向け1船の入港であった。4月積みの配船は少なくなる見通し。PNGでは中国からの引き合いが増え、FOB価格は約\$20/m³程度上昇し、それに連れて韓国、ベトナム、日本向けも\$20~30上昇。日本向けは円安もあり、厳しい値決めが予想される。4月予想の原木入荷はゼロ、出荷2千m³、在庫7千m³。製材品入

荷は 30 千 m³。

4. 北洋材

産地は本来、冬伐り原木の最盛期だが、今年はコロナの影響で伐採が減少し、またカラマツが多くアカマツ良材原木の供給は着実に減少。加えて中国からの注文激増で産地市場は著しく混乱している。コンテナ不足による海上運賃の上昇も混乱を大きくしている。アカマツ原板は中国からの引き合いが極めて活発で通常\$230/m³レベルが\$420 を超えている。日本向けも\$500 を超えるだろう。アカマツ野縁製品の産地価格はシッパーの発表はないが、\$700 を超える勢いだ。国内製材工場では原板確保には大幅な価格上昇を飲まざるを得ず、アカマツ以外の樹種検討も再度始まった。受注は一般、DIY ルートとも好調だが、受け切れない状況。現地挽きアカマツ野縁製品は流通玉がなく値段は存在しない。上級グレードの先物価格は一時的に 90,000 円/m³に向かう危機感が出ている。国産完成品は各社取引先に値上げ提示、先行き供給不安の説明に奔走。4 月予想の原木入荷、出荷とも 2 千 m³、在庫は 8 千 m³。製品入荷(東京+川崎)18 千 m³、出荷 19 千 m³、在庫 19 千 m³。

5. 合板

合板用原木の国産材は不足感が強く高値張り付きの状態である。ロシア材は価格強含みだが、大きな変化はない。米材は米国内向け、中国向けの引き合いが強く価格も上昇している。南洋材は現地の天候が不順なため出材は限定的になっている。

2 月の国内合板生産量は 25.3 万 m³、うち針葉樹合板は 24.6 万 m³、出荷量は 24.0 万 m³で在庫量は 11.4 万 m³となり、このうち構造用合板の在庫は 9.6 万 m³とやや増加した形になった。針葉樹合板は 3 月中旬以降、荷動きが活発になったことでメーカー在庫が減り、原木価格も上昇しているため、やや強含みになっている。納期が少し掛かる状態になっており、先行き強気姿勢でいくと見られる。輸入合板はほとんどの品目で品薄感が強く、日を追うごとに厳しくなっている。価格も値上げが続いている。2 月の合板輸入量は 16.9 万 m³と昨年の平均を下回る入荷となった。インドネシア産、マレーシア産とも非常に少ない入荷である。インドネシアでは強い原木不足が続いており、一部工場では生産遅れも見られる。マレーシアでは天候は回復してきているが、依然として原木不足が続いているため、限られた生産となっている。

6. 構造用集成材

3月ラミナ入荷は通常通りだが、4月はやや少なくなる見込み。コンテナ不足に加え、スエズ運河封鎖事故の影響で今後のラミナ入港は遅れてくる。第3・四半期交渉は350ユーロ/m³と過去最高のオファーとなった。オファーの量は絞られており、ラミナ入港量は夏場にかけて減少するだろう。6月入港分の輸入集成材の価格は72,000~75,000円/m³になり、オファーも少なく、国内在庫は品薄状態になると見込まれる。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷はバイオマス発電、製紙用とも引き合いは強いが入荷は低調。解体材は例年、在庫量の増加時期だが、今年は発生量の減少、使用量の増加でタイト感が強い。製紙用の国内針葉樹チップの使用量は増加しており、各社とも増集荷体制を継続。燃料用チップは6~7月の定期修理まで使用量が多くタイト感が非常に強いため増集荷体制にある。

8. 市売問屋

外材製品の品不足でスギ、ヒノキ製品は値上げとなっているが、肝心の製品入荷がない。国産材構造材(KD)は徐々に値上げムードになってきた。外材構造材も値段が先行して高くなっているが、物がないので集荷、販売に苦労している。造作材は国産材、外材ともに入荷が少ないため値上げムードが強い。

9. 小売

外材の品不足の影響により国産材にも変動が見られ、柱角は代替としてスギ、ヒノキとも品薄状態。ヒノキ土台角も同様に引き合いが強く入荷・納品に時間を要している。米材、欧州材、ロシア材の全てが品薄で値上がり。入荷の目処が立たず、町場にも影響が出始めている。羽柄材も構造材同様、入荷がなく、在庫が切れた時点での代替集めに苦労している。郊外のビルダーによると、在宅勤務が拡大して集合住宅から戸建て住宅への住み替えが増えているとの情報もある。一方、町場でも細かいリフォームは依然として底堅い。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和3年4月21日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
南洋材	丸太	↘	↘	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	↗
			スギ中丸太(3.65m)2等	↘
			ヒノキ柱材(3m)2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m)2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD)10.5×3.0×3m 特等	↗
			スギ加工板1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	↗
ヒノキ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			SPF 2×4 J-Grade R/L	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↗
米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	↑
		アカマツ(KD)16×40上級	↑	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
		ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗